



4月の園だより

新しい年度が始まります。

桜が咲きたんぽぽも咲いて、子どもたちは「あったかい」と素直です。今日からみんな一つずつ大きい学年です。昨日まで3歳児だった子が進級を「ただドキドキしちゃうんだよね」と話してくれました。

何がドキドキするのか尋ねると、「今度そらさんになる子にさ、教えてあげるから」と。自分がちゃんとお兄さんになる事を自覚していることに少々驚きながらも、成長を感じて嬉しく思いました。

みんなドキドキしていますよね。どうぞ一年間よろしくお願いします。

職員みんなで精一杯心を込めて過ごしてまいりますので、保護者の方々のご協力とご理解をお願いいたします。

5月の園だより

新年度が始まりました。

子どもたちは園庭にいてもお部屋にいても喜びでいっぱい。動きも表情も張り切っている様子が伝わってきます。新しい学年になったことがこんなにも嬉しいものなのかと、大人も笑顔になります。

【ツバメ】

園舎の壁を塗替えしたので昨年までのように巣が作れないと心配していました。ツバメはつき組の入り口の軒下に来ては鳴いて何やらお話しをたくさんしています。つき組の子が「おーい。チュンチューン」と見上げて話しかけ、笑っています。4/13少し巣らしきものを作り出す。4/18巣がほぼ出来上がり、中にツバメの姿が見える。もう一か所、巣を作ろうとするツバメが来る。4/21二つ目の巣も完成間近のようです。

【うさぎ】

庭の草もどんどん伸びてくるので、そんな草を摘んでは小屋の隙間から草を入れ、食べてくれるのをよく見えています。子どもは触るのが上手で頭や体を撫で、黙っていますが心が通い合っているようです。

【アリ・ダンゴムシ・かえる】

草の中や石の下にいる虫を地面に顔を近づけ目を凝らして見つけています。虫を手の中にしっかり持ち、生きているものを大切に作る姿は私たちも同じ仲間だと教えてもらっているようです。

鼻水や熱のでる子が見られます。朝晩の気温の差や新年度の緊張があるので体調管理に気をつけていきましょう。



進級して力がつく

たいようグループがこいのぼりを糸と針で縫って作りました。子どもたちは年長になったらできるのを楽しみにしていますが、糸通しに苦労し、縫う時は布の上下が難しく糸がからまったようになってしまうこともあります。それでも自分で縫ったと誇らしさでいっぱいです。みんなの布を大人がミシンで縫い合わせこいのぼりを完成させました。



4歳児は登り棒に2.3日前まで大人に足を支えられたり、半分ぐらいのところにつかまっていたと思ったら、今日は急に「登れるようになったよー」「見てて」と声をかけてくる。見に行くとしっかり自分の手と足で上のくもの巣に届くまで登れるようになっていました。3歳児はリュックを背負って「抱っこ」と言わず自分の足で歩いて行き来している姿が見られます。乳児も走り回るその足取りが、まだ進級して数日なのになんだかしっかりしていたり、一人遊びをしていたら友達と誘い合っ
てジャングルジムをしていたり、園庭広く行動範囲になって大人はあっちにこっちに大忙し。一つ大きいクラスになるって楽しいですね。



給食のお手伝い

年長児がスナップエンドウのすじ取りをしてくれました。

1回目：4/13

「ぼくたちがやったおめでとう」

2回目4/18手馴れてきたようで、「上のところを折って、引っ張るとすじが取れるんだよ」との説明付きに。どちらにしてもたいようが手伝ったエンドウはとってもおいしかったです。缶詰を缶切りを使って開けるお手伝いもしました。

*新茶の季節 法人理事土井さんのお茶屋『やまいち』より土井由記子さんに来ていただき、職員で昼の休憩時に新茶をすすり茶でいただきました。香りと旨味にびっくりし、初めての味にしばし気持ちが和み優しくなりました。贅沢な時間を過ごせ、その後も口の中に残るお茶の香りを楽しみながら過ごせました。



かおりさん(主幹保育教諭)からのメッセージ

園庭のすみで2~3人ほほを寄せ合って何かを探している様子。

何をしているのか近くに行ってみると、ありを見つけてはバケツへ入れていました。

たくさん集まったありのバケツを見せて「ありのうじゃうじゃ隊だよ」と誇らし気。

また別の日は他の子が2人で何かを探していました。ありかな？だんこ虫かな？と思っ
てみると「ハートの形のはっぱみつけた！」と目をキラキラさせてくれました。

子どもの世界って素敵ですね。（福島かおり）

